

子ども・子育て支援に関する市民アンケート（ニーズ調査）の実施について

1 概要

次期子どもプランをより実効性のあるものにするため、5年に一度大規模なアンケート調査を行う。

アンケートでは、「子育ての悩みや不安」「子育ての相談ができる人」など、子育て家庭の現状を把握するとともに、「取り組んでほしい支援策」などのニーズについても確認する。

これに加え、今後5年間の幼児期の教育・保育の量の見込みを算出するためのアンケートも別途実施する。(⇒「子ども子育て支援事業計画」に反映)

2 実施内容

(1) 対象者

ア 就学前児童（0～5歳）の保護者【就学前児童A】	5,000人
※「子ども子育て支援事業計画」に反映	
イ 就学前児童（0～5歳）の保護者【就学前児童B】	3,000人
ウ 小学生（6～11歳）の保護者	3,000人
エ 中学・高校生（12～17歳）の保護者	3,000人
オ 18歳から40歳未満の男女	3,000人
計	17,000人

(2) 実施方法・スケジュール

郵送調査（住民基本台帳から無作為抽出、無記名回答）

- ・2018年11月中旬に発送 ⇒ 12月中旬に回収完了
- ・12月下旬から集計・分析 ⇒ 2019年3月までに取りまとめ

(3) 調査内容

別紙「アンケート項目一覧」参照

3 前回からの変更点（主なもの）

(1) ニーズを精査するための質問文の修正、質問の追加

- ・就労していない母親に対する質問の選択肢
〔変更前〕 1年以内に就労したい
〔変更後〕 1年以内の就労を予定している
- ・延長保育の利用希望時間
〔変更前〕 □□時まで
〔変更後〕 □□時□□分まで

育児負担の軽減のため、こうしたサービスの実施を始めた自治体も増えてきており、ニーズを調査する。

延長保育のニーズは18時01分以降の利用を希望する場合。
前回の回答方法だと、18時00分までの利用者をニーズありとカウントしてしまうため、修正を行う。

・教育・保育の利用希望

〔新規〕

0～2歳のお子さんをお持ちの保護者に対し、利用したいと回答した施設・事業を、子どもが何歳になったら利用したいか。

・利用したい回数（親子ふれあいルーム等）

〔変更前〕 1週あたり□回 又は 1ヶ月あたり□回

〔変更後〕 1週あたり□回 又は 1ヶ月あたり□回

又は1年あたり□回

(2) 幼児教育無償化関連

- ・無償化が実施された場合、教育・保育の施設・事業を定期的に利用したいか。〔追加〕

(3) 病児保育

- ・病児保育を利用するにあたって障害になると思うことは何か。〔追加〕
選択肢例：利用料、利用方法、立地、開所時間等

(4) 生活習慣に関すること

- ・歯磨きの頻度、絵本の読み聞かせの頻度。〔追加〕

(5) 子ども医療費支給制度について〔新規〕

- ・現在の制度についての満足度、意見（自由記述）。

(6) 子育てに関する悩みや不安について

- ・子育てを楽しんでいると感じることがあるか。〔追加〕

(7) 産後利用できる育児・家事サービスについて〔新規〕

- ・ほしい、ほしかったサービス
選択肢例：育児・家事ヘルパー、日中親子が休める所、宿泊して親子が休める所

(8) 子育てを支えてくれる人

- ・子育てを支えてくれる人、場所はあるか。〔追加〕
- ・どんな人、場所、取組みに支えられていると思うか。〔追加〕
選択肢例：家族、子育てサークル、保護者仲間、各種相談窓口等

(9) 不妊治療について〔新規〕

- ・不妊治療を受診しようと思うか。
- ・不妊治療を助成する制度があることを知っているか。

これまで「悩みや不安はあるか」については継続して質問していたが、悩みや不安を感じながらも、子育てを楽しんでいるか、新たに聞くこととした。

「子育てが地域の人に支えられていると感じているか」については、これまでも確認していたが、時代の変化に伴い、SNSなど新たな人のつながりが生まれている。そういった現状について、今回新たに把握する。